



テーマ:文字・数

5歳児

実施日: 令和8年5月から3月

🌸 テーマの設定理由

3、4歳児頃から少しずつ掲示物を眺めたり絵本を自分で読もうとしたりする姿が増えてくる。5歳児になり年長児となり気持ちが高まり小学校就学に向けて期待を持つようになる。そんな時に、自分から文字を読もうとしたり歌の歌詞を読んで理解しながら歌ったりする姿がさらに増え、もっと文字に興味をもてたら遊びの幅が広がるのではないかと考え、学研による「まなびタイム」を導入することにした。

👤 活動スケジュール

月に2回、午後の時間に1時間、講師による「まなびタイム」を行う。日常生活の中で文字や数に触れる機会を見逃さず活動に取り入れていく。

📝 活動のために準備したもの、環境設定

えんぴつや消しゴム、自由帳など日常的に書いたり遊んだりできるよう十分な量を準備。

😊 活動内容

一文字ずつのカードになった文字を並べ替えたり、出されたカードが頭にくる言葉を出し合ったりし、文字を読む書くだけでなく様々な「言葉」があることを知れるようにした。少しずつ段階を踏んで言葉遊びやカードでの遊び、文字を書いてみよう読んでみよう、と無理のないように進めていった。

🌸 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

学研講師によるカリキュラムに基づいた無理のない進め方により、積極的に発言したり質問をしたりして楽しんでいる姿があった。また、日常の中でも友だち同士で手紙を書いたり言葉遊びをしたりして楽しむ姿が徐々に増えてきた。「デイキャンプ」という5歳児の行事で行う宝探しでは、文字を入れ替えて答えがわかる仕掛けを作ったり正月には絵馬に願いごとを書いたり文字に触れる機会を増やしていった。難しい様子の子には保育者がそばにつき、ヒントを出したり別の機会にフォローをしたりしその子の興味や発達に合わせて援助をしていった。

😊 実践から子どもの姿、振り返り

無理なく進めることができたため文字・数に抵抗をもつ子はいなかった。また、ゲームや遊びながら学ぶことで自然と身につく、書いてみよう、もっと書きたい、覚えたい、という気持ちが湧いているようだった。文字や数について日常保育の中に取り入れることができたのも良かった。まだまだ考えれば様々なやり方があったと思うから今後につなげたい。



キッズタウンうきま保育園



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん